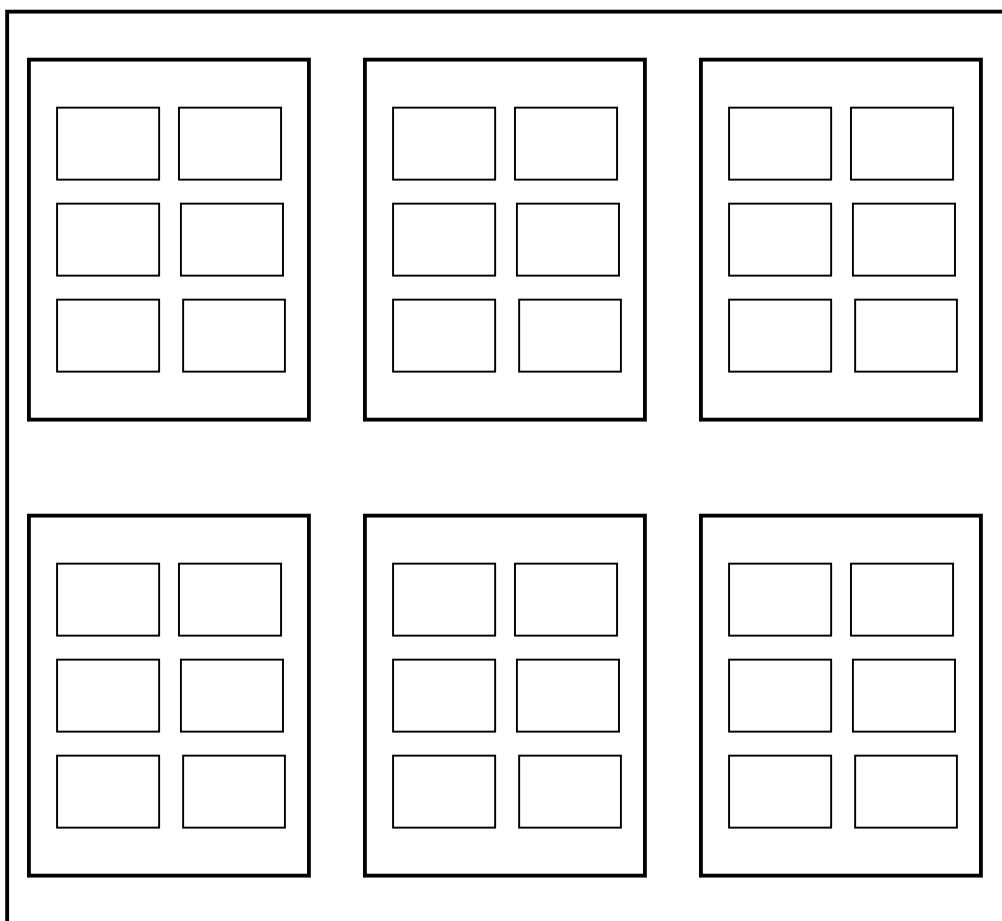


GTB

HotPrint ユーザーズマニュアル



目次

第一章 お使いになる前に

1 . 動作環境とインストール	7
1 - 1 . 推奨動作環境	7
1 - 2 . HotPrint のインストール手順	8
2 . HotPrint 概要	12
2 - 1 . 概要	12
2 - 2 . HotPrint で取り扱うファイル	13
3 . サンプルアプリケーション	14
4 . Windows 基本操作	15
4 - 1 . マウスの操作	15
4 - 2 . ウィンドウ操作	16
4 - 3 . リスト操作	20
4 - 4 . メニュー操作	22

第二章 操作説明

HotPrint のオペレーション	25
1 . 基本画面	25
2 . メニュー構成	28
3 . ダイアログ	30
3 - 1 . ホットフォルダ設定	30
3 - 1 - 1 . 設定ダイアログ	30
3 - 1 - 2 . ホットフォルダの設定	32
3 - 2 . プリンタ情報	36
4 . HTML によるログファイルの出力	37

5 . トラブルシューティング37

第一章

お使いになる前に

動作環境とインストール

HotPrint 概要

Windows の基本操作

1. 動作環境とインストール

1 - 1. 推奨動作環境

入力ファイル：TIFF（1 / 8 / 24 / 32ビット）

コンピュータ本体：Pentium 600MHz以上

メモリ：256MB以上

ハードディスク：20GB以上

OS：WindowsNT サービスパック5以上

：Windows2000

1 - 2 . HotPrint のインストール手順

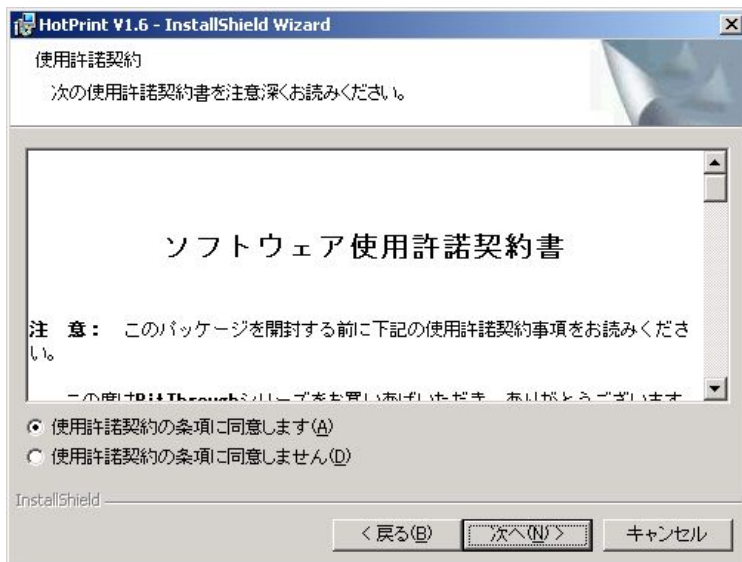
(注意) HotPrint は、起動前にハードウェアキーが接続されている必要がありますので注意して下さい。接続されていない場合は、機能を確認する為のサンプルアプリケーションとなります。



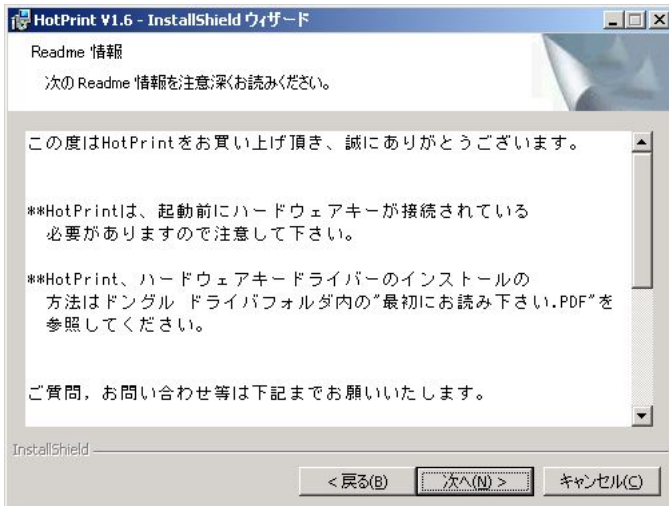
1) C D - R O M内にある「setup.exe」をダブルクリックします。



2) インストールを行う製品のセットアップウィザードが起動しますので「次へ(N)」をクリックします。



3) 製品の使用許諾が表示されますのでよくお読みください。同意いただいた場合、本製品のインストールが可能となりますので「次へ(N)」をクリックします。



4) インストールにあたっての注意事項と製造元の情報が表示されます、よくお読みの上「次へ(N)」をクリックします。



5) 名前と所属会社名を入力し、「次へ(N)」をクリックします。



6)インストール先のフォルダを指定します。

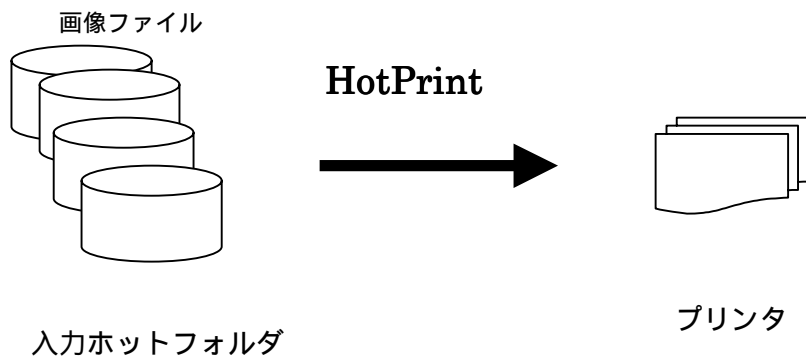
変更する場合は「変更(C)...」をクリックして、パスを直接入力するか、ディレクトリを指定します。「次へ(N)」をクリックするとアプリケーションのインストールを開始します。

2 . HotPrint 概要

2 - 1 . 概要

HotPrint はバッチ処理で画像ファイル (TIFF) を指定のプリンタへ出力します。

入力フォルダを一定間隔で監視し、新しい画像ファイルが入っていれば自動的に読み込み、必要であれば YMCK - RGB 変換を行い、割付指定に従い、編集印刷をおこないます。



2 - 1 - 1 フォルダセット

監視を行う入力フォルダや出力処理後の入力ファイルの処理オプション、割付編集・描画オプションなどのパラメータ設定をまとめてフォルダセットと呼びます。複数のフォルダセットを設け、対象プリンタに合わせて異なった指定を行えます。同じプリンタに対して異なった設定を別フォルダセットして指定できます。

2 - 1 - 2 プリント割付

「実寸・分割」、「フィット」、「ベタ」の3通りの割付を指定できます。

「実寸・分割」: プリンタの解像度と画像原稿の解像度より、印刷出力の実サイズを計算し指定の用紙サイズに収まるか否かを判定し、1枚に収まらないときは複数ページに分割して出力します。分割数を最少にすることができます。(「最少分割数」

指定)

「フィット」: 画像原稿を指定用紙サイズに収まるように拡大・縮小して 1 枚にプリントします。

「ベタ」: 画像原稿の解像度を無視し、プリンタの解像度と同じとみなしてプリントします。高解像度の画像をこのモードでプリントすると、たくさんのページに分割出力されますので注意してください。

また、予め出力画像を変換し、出力時間の短縮や品質の向上を図ることができます。

「解像度変換」は画像の解像度を予め指定解像度に変換します。

「デスクリーニング」は網点画像(二値画像)を予め指定解像度のグレースケール画像に変換します。

2 - 2 . 取り扱うファイル

HotPrint では 1、8、24、32 ビットの TIFF ファイルを取り扱います。

3. サンプルアプリケーション

ハードウェアキー(コピーガード)を接続しないで動作させた場合、有効期限内でだけサンプルアプリケーションとして動作します。

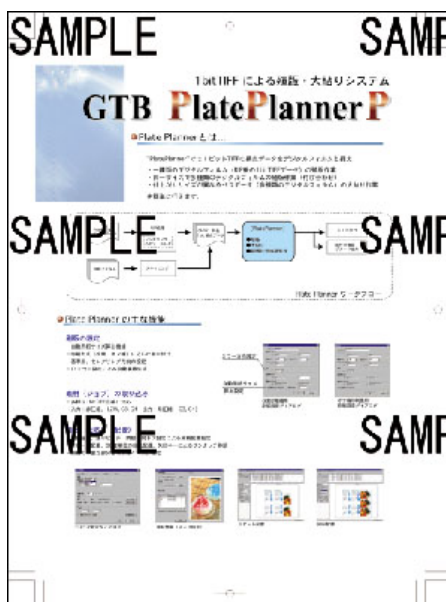
サンプルアプリケーションでは、HotPrint の全機能が使用できますが、出力画像内に “ SAMPLE ” の文字が埋め込まれてプリンターに出力されます。本来の処理よりも多くの時間を要します。

(“ Creating Sample Images ” のメッセージがプログレスバーに表示されている時間が加算されます。)

本来の画像



サンプルアプリケーション時の画像



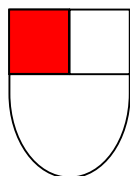
4 .Windows 基本操作

4 - 1 . マウスの操作

マウスはコンピュータに指示を与えるための装置です。マウスには右ボタンと左ボタンがあります。マウスの操作には、クリック（左クリックともいいます）、右クリック、ダブルクリック、ドラッグの4種類があります。

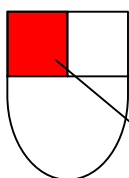
『クリック』

マウスのボタンを1回押してすぐに離すことを、「クリック」といいます。クリックはメニューやボタンを選んだりするときに使います。



『ダブルクリック』

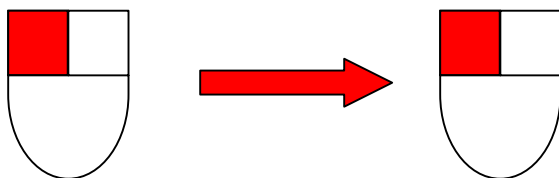
左ボタンをすばやく2回押すことを「ダブルクリック」といいます。ダブルクリックはアプリケーションソフトを起動するときなどに使います。



2回、カチカチと素早くクリック

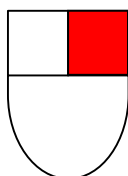
『ドラッグ』

マウスの左ボタンを押したままマウスを動かすことを「ドラッグ」といいます。また、目的の場所までマウスをドラッグした後、マウスのボタンを離すことを「ドロップ」といいます。ドラッグはアイコンやウィンドウの移動や、操作の範囲の選択などに使います。



『右クリック』

マウスの右ボタンを1回押すことを「右クリック」といいます。右クリックは主にメニューを表示させます。

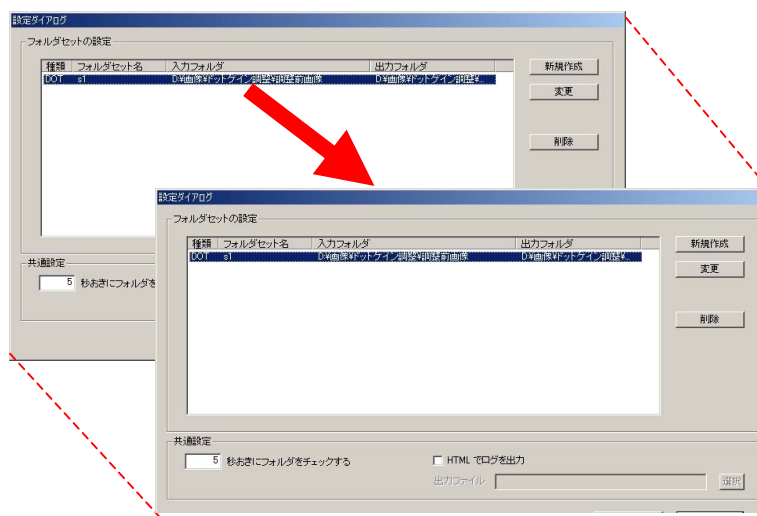


4 - 2 . ウィンドウ操作

ウィンドウは作業を行なう仕事場のようなものです。アプリケーションを起動させるとそのアプリケーションのウィンドウが開かれ、作業ができるようになります。ウィンドウは同時にいくつも開くことができるので、複数の作業を同時進行で行なうことができます。

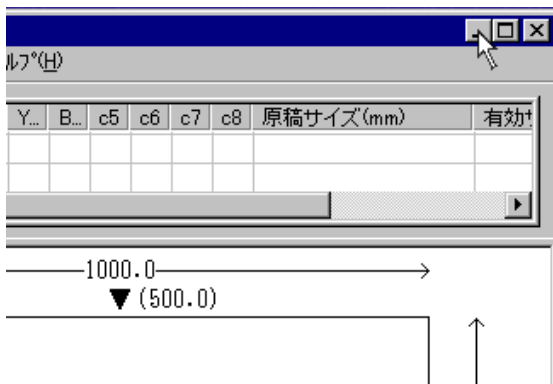
『ウィンドウを移動する』

ウィンドウを移動するときには、そのウィンドウのタイトルバーをドラッグします。移動させたい位置まできたら、マウスのボタンを離します。ウィンドウを移動させても、ウィンドウの大きさは変わりません。



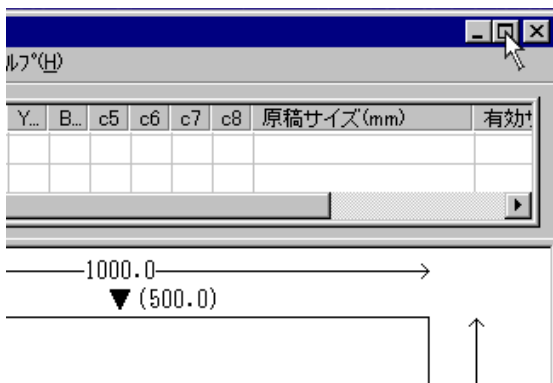
『ウィンドウを最小化する』

タイトルバーの右端にある3つの小さなボタンのうち、左端のボタンをクリックします。すると、ウィンドウはタスクバーに格納され見えなくなります。タスクバーに格納されたウィンドウのボタンをクリックするとふたたび現れます。



『ウィンドウのサイズを変更する』

タイトルバーの右端にある3つの小さなボタンのうち、真ん中のボタンをクリックすると、ウィンドウは画面いっぱいに表示されます。もう一度クリックすると元の大きさに戻ります。またすでに画面いっぱいに表示されている場合、このボタンは元のサイズに戻すボタンになります。



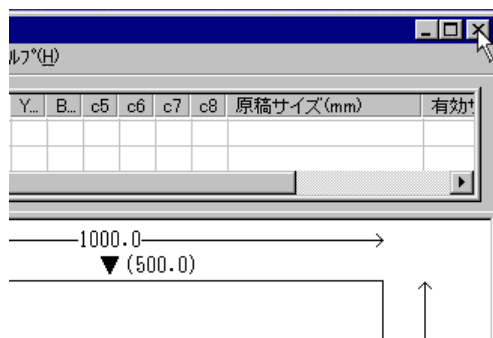
『ウィンドウを好きな大きさに変更する』

ウィンドウの枠の部分にマウスのポインタをあわせると、マウスポインタの形が変化します。この時にマウスをドラッグすると、ウィンドウの大きさが変わります。好きな大きさになったところで、マウスのボタンを離してください。



『アプリケーションソフトを終了する』

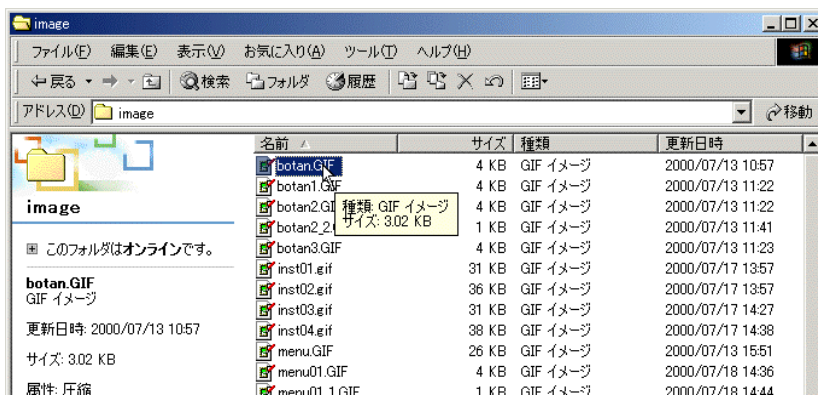
タイトルバーの右端に配置されてるボタンの右側のボタンをクリックします。ウィンドウは消え、アプリケーションは終了したことになります。



4 - 3 . リスト操作

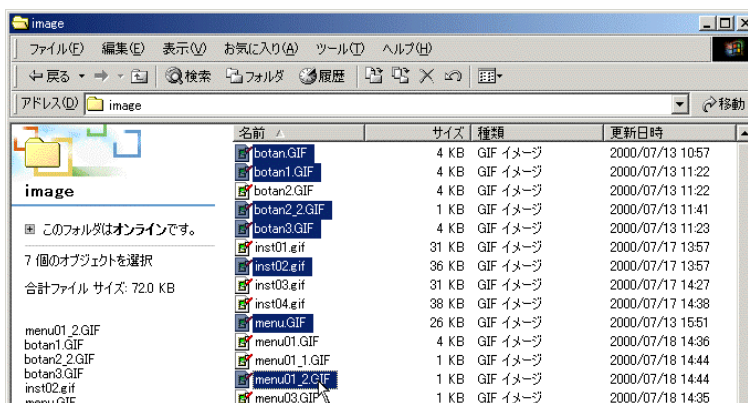
『リストの選択』

リストの一覧のウィンドウで選択したいファイルまたは項目にカーソルを合わせてクリックします。選択した項目の色が変われば、その項目を選択したことになります。



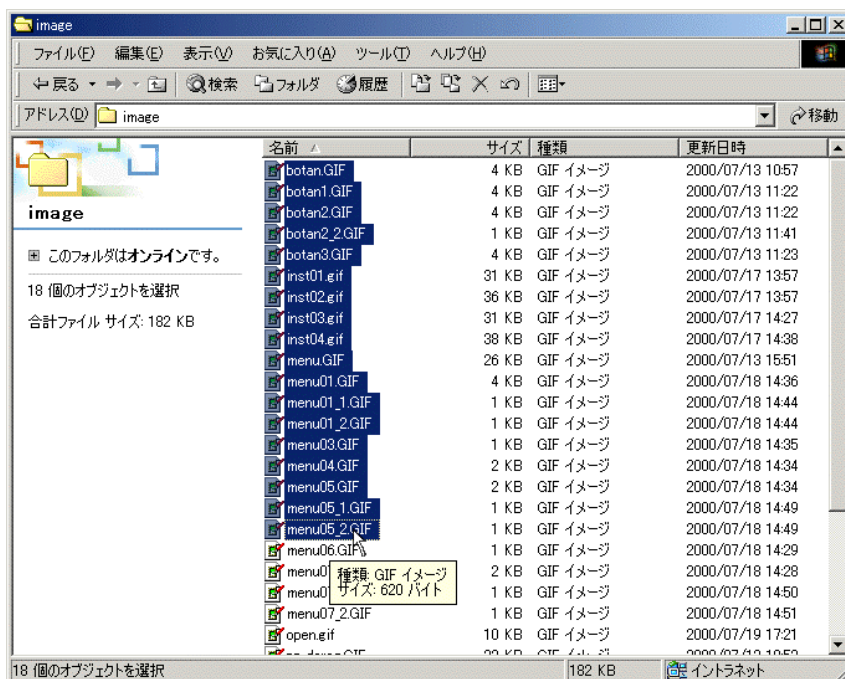
『リストの複数選択』

キーボードの Ctrl キーを押しながらリストを選択すると、複数のファイルまたは項目を選択することができます。



『リストの一括選択』

Shift キーを押しながら、ファイルまたは項目を選択すると、最初に選択されたファイルから、今、選択されたファイルまで一括で選択できます。最初に選択を行っていないときは、リストの最初からの選択になります。



『すべてのリストを選択』

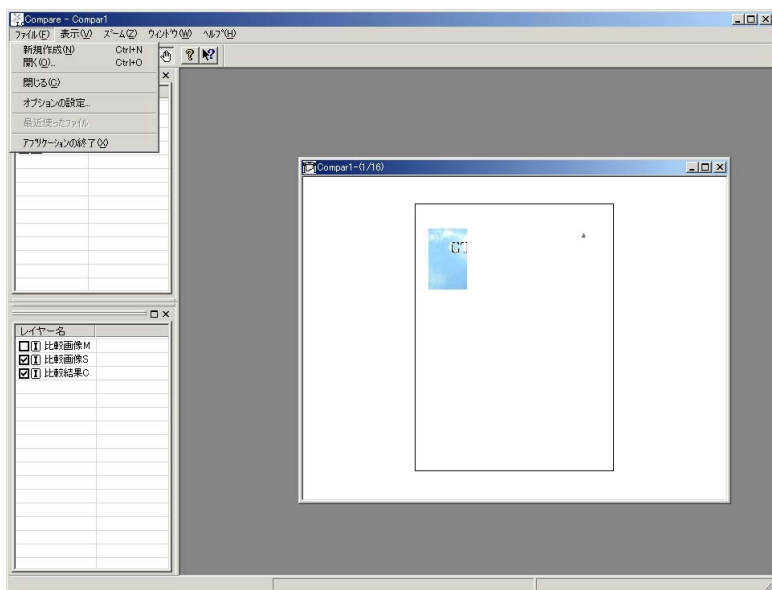
メニューバーの「編集」-「すべてを選択」を選択するとすべての項目を選択することができます。Ctrl キーと「A」を同時に押しても同等の効果が得られます。

4 - 4 . メニュー操作

タイトルバーの下の「ファイル」、「編集」などの項目一覧を「メニュー」と呼びます。右クリックなどでもメニューの選択は可能です。メニューバーには選択できる全てのメニューがあります。

『メニューの選択』

行なう作業項目をクリックすると、その項目のさらに細かな作業のメニューが降りてきます。降りてきたメニューの作業項目をクリックするだけです。



第二章

操作説明

HotPrint のオペレーション

HotPrint のオペレーション

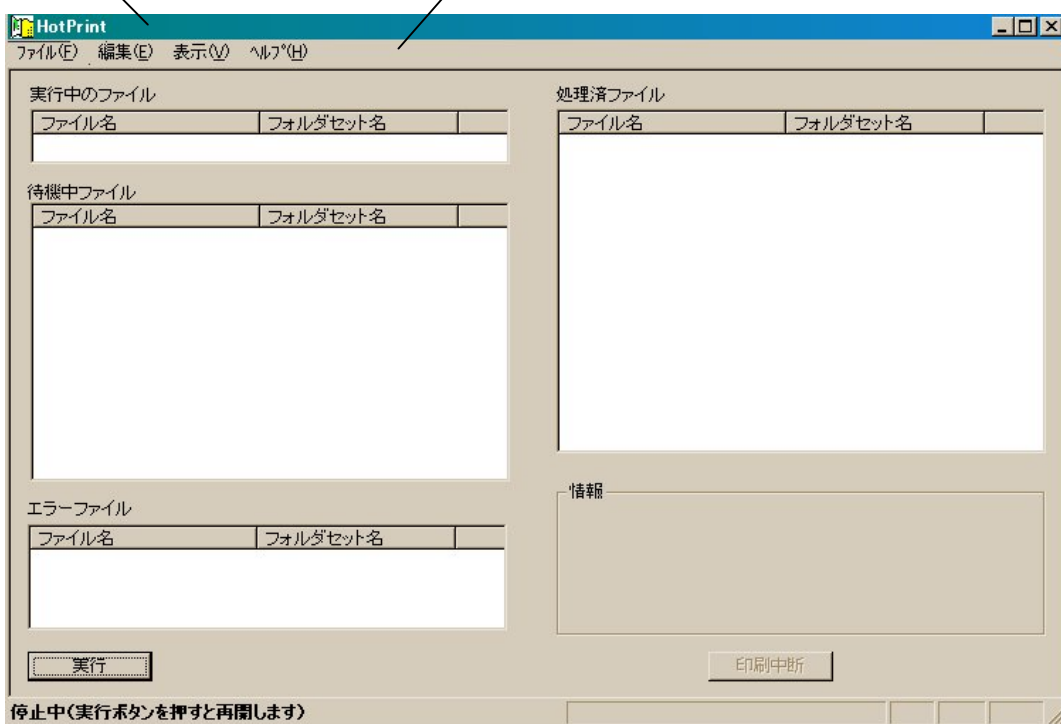
「HotPrint.exe」のアイコンをダブルクリックしますと HotPrint が起動し、基本画面が表示されます。

基本画面は、現在の処理状況を表します。各種設定を完了させ「実行」ボタンをクリックすればフォルダセット毎の入力フォルダ監視が始まり、網点画像が入力フォルダに移されるとドットゲイン補正が行われます。

1. 基本画面

プログラムタイトルバー

メニューバー



『プログラムタイトルバー』

ウィンドウやダイアログボックスの名前が表示されるバー

『メニューバー』

メニュー名が表示されるバー

【実行中のファイル】

現在処理されている網点画像ファイル名とそのフォルダセット名が表示されます。

【待機中のファイル】

入力フォルダに入っているファイルのうち未処理のものが表示されます。表示されているファイル名をクリックすると入力フォルダ、プリンタ名称、処理済ファイルの移動先などが「情報」枠に表示されます。

【処理済ファイル】

入力フォルダに入っていたファイルのうち、プレビュー作成処理の終了したファイルが表示されます。表示されているファイル名をクリックすると入力フォルダ、プリンタ名称、処理済ファイルの移動先などが「情報」枠に表示されます。

【エラーファイル】

何らかの原因で処理ができなかったものが表示されます。表示されているファイル名をクリックするとエラー原因の簡単な説明が「情報」枠に表示されます。

【一時停止・実行ボタン】

フォルダのチェックを一時的に停止させたり、再び実行させたりできます。

【情報（枠）】

リストのひとつをクリックして選択すると、関連の情報が表示されます。

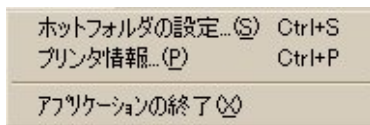
【印刷中断】

プリント処理が始まると押下可能になり、現在処理中の出力を中断できます。HotPrint が完了し、スプーラに渡された出力はスプーラ側で中断します。

2 . メニュー構成

基本画面のメニューバーをクリックし、メニューを選択すれば個々の設定や確認ができます。

2 - 1 . ファイルメニュー



1) ホットフォルダ設定

フォルダーセットの設定をします。

2) プリンタ情報

プリンタの機能情報を表示します。

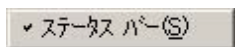
4) アプリケーションの終了

このアプリケーションを終了します。

2 - 2 . 編集メニュー

現在は使用できません。

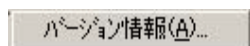
2 - 3 . 表示メニュー



1) ステータスバー

基本画面下部のステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。

2 - 4 . ヘルプメニュー



1) バージョン情報

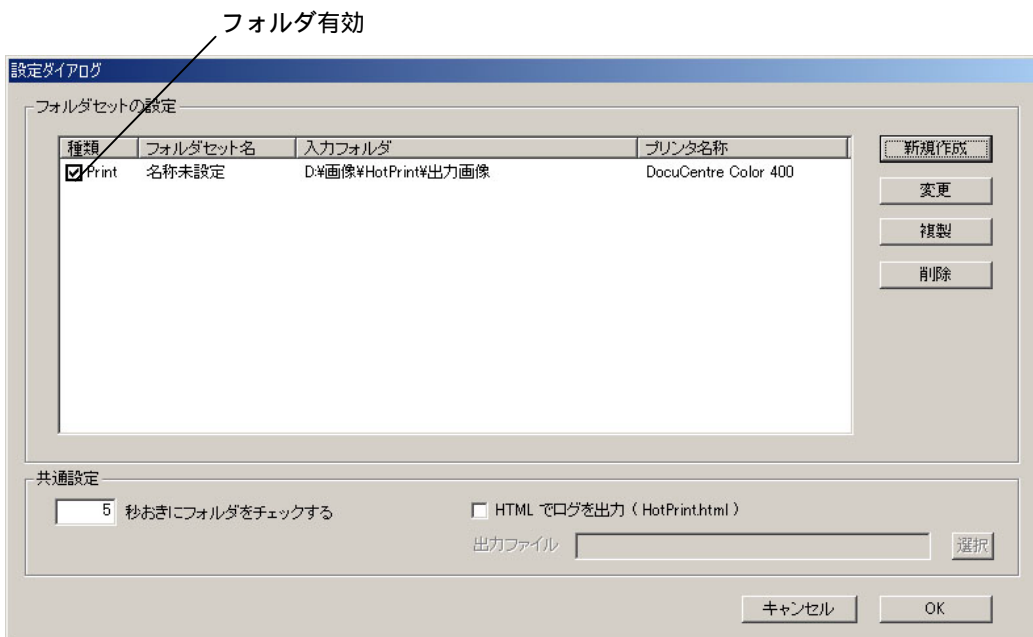
HotPrint のバージョン情報が表示されます。

3. ダイアログ

3 - 1. ホットフォルダ設定

3 - 1 - 1. 設定ダイアログ

基本画面の「ファイルメニュー」から「ホットフォルダ設定」を選択すると、「設定ダイアログ」が表示され、フォルダセットの登録などの設定を行えます。設定が完了すれば「OK」、設定を無効にする場合は「キャンセル」をクリックします。



【フォルダセットのリスト】

現在設定されているフォルダセットが一覧表示されます。任意のフォルダセットをダブルクリックすると「ホットフォルダの設定」ダイアログが開かれます。各フォルダセットの左端に「フォルダ有効」チェックボックスがあり、チェックをした場合だけ有効なフォルダセットとなります。

【新規作成（ボタン）】

新しいフォルダセットが作成され、「ホットフォルダの設定」ダイアログが開かれます。

【変更（ボタン）】

選択されているフォルダセットについての「ホットフォルダの設定」ダイアログが開かれます。

【削除（ボタン）】

選択されているフォルダセットを削除します。やり直しはできません。

【共通設定】

・ 秒おきにフォルダをチェックする

入力フォルダをチェックする間隔を指定します。基本画面で「一時停止」されたとき以外はこのタイミングでフォルダがチェックされます。

・ HTML でログ出力

ログファイルを HTML で書き出し、WWW ブラウザでログの確認をできるようにします。詳しい解説は「HTML によるログファイルの出力」のところをご覧ください。

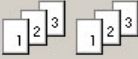
3 - 1 - 2 . ホットフォルダの設定

解像度 / サイズ変更を行うホットフォルダのセットを作成できます。

ホットフォルダの設定

セット名

プリンタ
プリンタ名(N):
状態: 準備完了
種類: FX DocuCentre Color 400
場所: 192.168.100.45:ART_EX
コメント:

部数
 部数(C):

イメージ印刷
割付
 実寸・分割(A) フィット(E) ベタ(B)
画像変換
 変換なし
 解像度変換 変換画像解像度(DPI):
 デスケーリング
 タイトル付き(T)
 外枠(W)
 中央配置(C)
 分割描画(S)
 分割読込(R)
 最少分割数

フォルダの設定
入力フォルダ:

処理済ファイル
 何もしない 削除する
 入力フォルダから指定フォルダに移動する
移動先:

3 - 1 - 2 - 1 . セット名

【セット名】

フォルダセットの名称を自由に設定できます。用紙サイズやプリンタなどの名称を設定しておくこともできます。

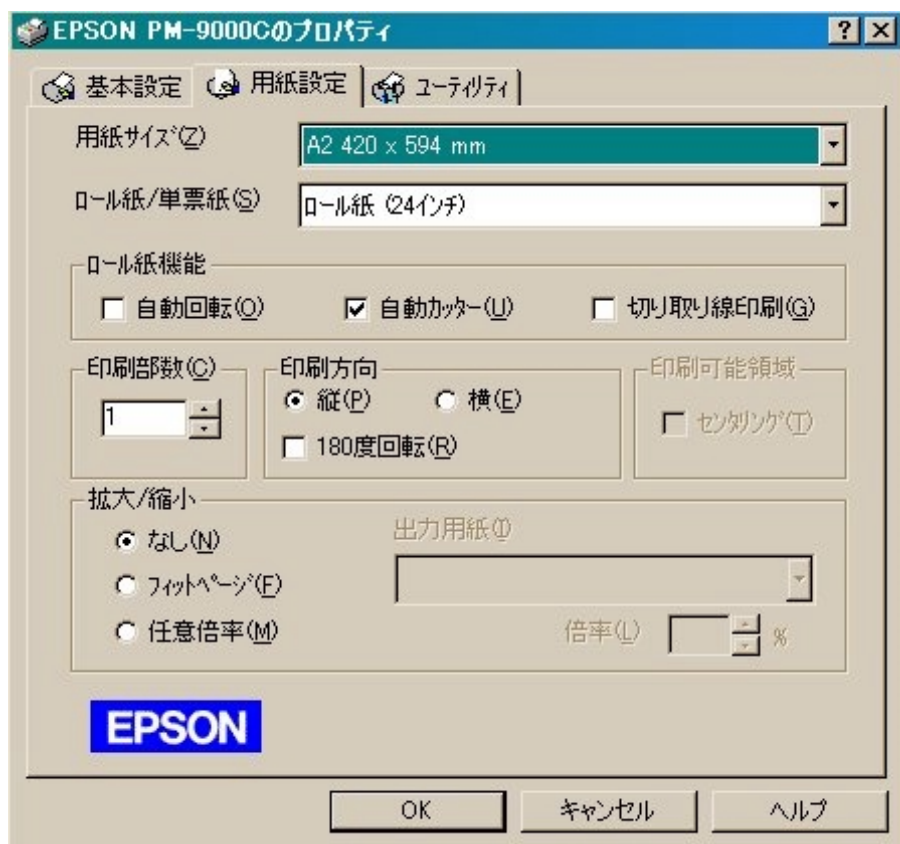
3 - 1 - 2 - 2 . プリンタ設定

【プリンタ名】

利用可能なプリンタ名を選択できます。

【プロパティ】

プリンタのパラメータ設定ダイアログを呼び出し、設定を行えます。EPSON PM 9000C の場合は次の画面が表示されます。



3 - 1 - 2 - 3 . イメージ印刷設定

1) 割付

プリントサイズを設定します。

【実寸・分割】

原稿画像の解像度とプリンタの解像度より実寸サイズを求め出力します。用紙サイズに収まらないときは、複数ページに分割出力します。

【フィット】

設定されている用紙に収まるように、拡大縮小して出力します。

【ベタ】

原稿画像の解像度をプリンタの解像度と同じとみなして出力します。

2) 画像変換

画像を予め変換してプリンタに送ることができます。出力時間及び品質を上げることができます。

【変換なし】

画像の変換は行いません。

【解像度変換】

画像を変換画像解像度 (DPI) で指定した解像度に変換します。

網点画像 (二値) と多値画像 (グレースケール、CMYK コンポジット) では変換方法が異なります。

(多値画像ではバイキュービック変換です。)

【デスクリーニング】

二値画像を変換画像解像度 (DPI) で指定した解像度のグレースケールに変換します。

3) 他の機能

【タイトル付き】

原稿画像ファイル名、割付オプション、サイズ、日付などをタイトル出力します。

【外枠】

プリントイメージの外側に 1 画素幅の枠を描画します。

【中央配置】

「フィット」時、用紙の中央にプリントします。

【分割描画】

プリンタへの出力時、ストリップに分割して描画・出力します。

【分割読み込み】

ファイルからの読み出し時、ストリップ単位に読み出します。

【分割読み込み】

ファイルからの読み出し時、ストリップ単位に読み出します。

【最少分割数】

画像が複数のページに分割される場合、最少の分割数となるよう画像を回転させます。（出力枚数が最少となります。）

3 - 1 - 2 - 4 . 入力の設定

【入力フォルダ】

自動監視するホットフォルダ名を入力します。「選択」ボタンをクリックして、フォルダ選択ダイアログによって入力フォルダを選択することもできます。あらかじめ入力フォルダを用意していない場合は、フォルダ選択ダイアログの新規作成ボタンを押すことにより、新しくフォルダを作成すると同時に、入力フォルダとして指定することができます。

「入力フォルダ」に「ファイルが入れば自動的に解像度/サイズ変更を開始します。」

3 - 1 - 2 - 5 . 処理済ファイル

処理済入力ファイルの処理を設定します。

処理は

何もしない

ファイルは入力フォルダに保存されます。

削除する

ファイルは削除されます。

入力フォルダから指定フォルダに移動する

ファイルは以下の移動先で指定されたフォルダに移動されます。

が選べます。

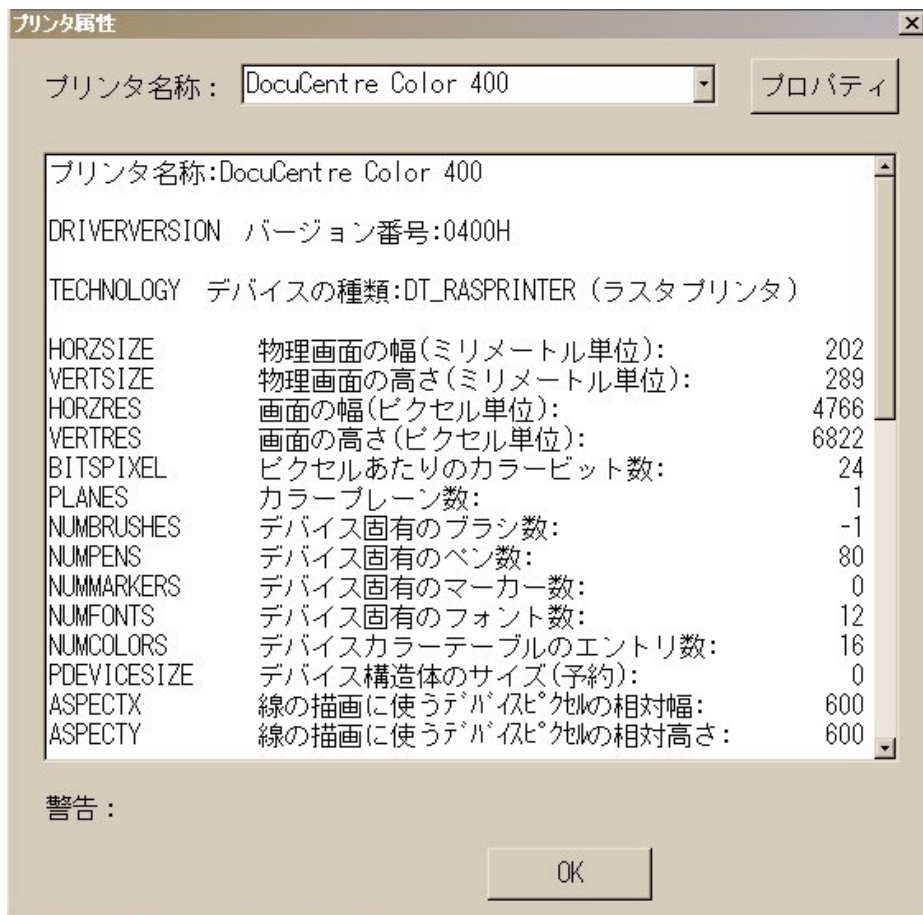
【移動先】

処理済入力ファイルを移動するフォルダです。設定方法は入力フォルダと同じです。

3 - 2 . プリンタ情報

基本画面の「ファイルメニュー」から「ファイル情報」を選択すると、「プリンタ属性」が表示され、プリンタの諸機能を確認できます。

HotPrint が使用している機能がサポートされていないとその旨「警告」欄に表示されます。



4 . HTML によるログファイルの出力

HotPrint の処理状況をクライアントマシンの WWW ブラウザ (InternetExplorer、 Netscape など) から見るすることができます。

設定方法

- 1 . HotPrint の「設定ダイアログ」でログの出力先を指定します。クライアントマシンからログを見るためには共有されたフォルダを指定します。OK ボタンを押した段階でログファイルが生成されます。
- 2 . クライアントマシンの WWW ブラウザを起動し、生成されたログファイルをドラッグします (または、WWW ブラウザのメニューからファイルを指定します) 。
- 3 . 今後 2 の処理をしなくてすむように、WWW ブラウザの「お気に入り」に登録します。(Netscape の場合はブックマークに登録)

5 . トラブルシューティング

入力フォルダに入れたのに、プレビューが作成されない。

設定が正しいのに解像度 / サイズ変更が開始されない場合は、HotPrint とおなじフォルダにある「HfJoblist.def」というファイルを削除してみてください。これにより、これまでに実行したファイルの情報が消されるので、入力フォルダにある全てのファイルを処理に行きます。